

# 経済活動は強弱入り交じる、まだら模様が 続く中国景気

# ポイント① ゼロコロナ政策下の反動を注視

中国国家統計局が15日に発表した、10月の主要 経済指標によると、鉱工業生産指数は化学品や 自動車などの伸びが寄与し、前年同月比+4.6%、 小売売上高については、外食、自動車などの品目 が増加となり、前年同月比+7.6%と、両指標とも 9月から上昇しました。ただし、比較年である前年が ゼロコロナ政策下で低調だった影響もあるので、今 後も注視する必要があります。

# ポイント② 1兆元の景気対策効果に注目

同日発表された1-10月分の固定資産投資は前 年同期比+2.9%と、1-9月分より0.2%減速しま した。不動産投資は同▲9.3%となった一方、イン フラ投資は同+5.9%、製造業投資は同+6.2% と、強弱入り交じる結果となりました。中国政府は 10月下旬に景気対策として、1兆元(当時の為 替レートで約20兆5,000億円)の国債増発を打 ち出し、調達資金の用途を地方政府の災害復興 のための交通や通信などのインフラ整備としています。 これにより、インフラ投資への積み増しが期待されて います。

# ポイント③ 米中は関係安定の重要性で一致

現地時間15日、1年ぶりに米中首脳会談が開催 されました。会談では両国の関係安定の重要性で 一致し、軍事衝突への発展などの更なる関係悪化 を防いだことに加えて、気候変動問題のような合意 しやすい分野で一定の成果がありました。一方、先 端半導体関連の輸出規制問題などには進展はな く、この分野での問題解決には時間を要する結果と なりました。中国景気は、当面まだら模様が続きそ うです。

#### 中国の鉱工業生産指数と小売売上高



期間:2019年1月~2023年10月、月次 (出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

### 中国の固定資産投資(年初来累計)



期間:2019年1月~2023年10月、月次

上記は、農村家計を除く。 (出所)Bloombergより野村アセットマネジメント作成



11月30日 中国製造業/非製造業PMI

(購買担当者景気指数、11月)

12月7日 中国貿易収支(11月)

NOMURA 野村アセットマネジメント

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料では ありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情 報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社 の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありま せん。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資 信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。